令和６年度　第１回　隠岐地域保健医療対策会議

令和７年３月１８日(火) 14:00～15:30
隠岐合同庁舎　６階会議室
島前集合庁舎　１階会議室
※ハイブリット方式

〇開会あいさつ

〇議　　事

１　隠岐圏域の現状と課題　【資料１】

２　島根県保健医療計画の進捗管理（評価・今後の方向性等）　【資料 2-1】

１）　医療提供体制の現状、課題及び今後の施策

（１）島後地域の病院と診療所の一元化（状況と今後の検討課題）

（２）医療介護連携の取組（在宅医療部会・難病部会）

（３）災害時対応　【資料 2-2】

（４）感染症対策（予防計画・対処計画を踏まえた取組）

２）　健康なまちづくりの推進　【資料 2-3】

健康長寿しまねの推進（推進事業・健康寿命延伸プロジェクト）

３）　人材の確保・定着の取組と今後の連携強化に向けて　【資料 3-1, 3-2, 3-3】

〇　閉会あいさつ

令和６年度 第1回 隠岐地域保健医療対策会議　出席者名簿

	所　属	勤務先	職　名	氏名	備　考
1	島後医師会	高梨医院	会　長	高梨　俊夫　様	島後
2	隠岐病院	隠岐広域連合立隠岐病院	院長	徳家　敦夫　様	島後
3	隠岐歯科医師会	にしのしま歯科	副会長	木村　稔　様	Web
4	島根県薬剤師会隠岐支部	(株)エスマイル スイングおき薬局		前川　望　様	欠席
5	島根県看護協会隠岐支部	隠岐広域連合立隠岐病院	支部長	高村　浩美　様	島後
6	隠岐の島町	隠岐の島町	町　長	池田　高世偉　様	島後
7	隠岐広域連合	隠岐広域連合	副広域連合長	川﨑　康久　様	島後
8	隠岐広域連合消防本部	隠岐広域連合消防本部	消防長	田中　勤　様	島後
9	隠岐地域介護支援専門員協会		会　長	斎藤　昭博　様	欠席
10	島根県訪問看護ステーション協会隠岐支部	隠岐の島町訪問看護ステーションかがやき	支部長	齋藤　文子　様	島後
11	隠岐の島町食生活改善推進協議会		会　長	松田　照美　様	欠席
12	サロン隠岐たんぽぽ		世話人代表	藤田　千鶴　様	欠席
13	島後地区家族会		会　長	村上　茂布　様	欠席
14	隠岐島前病院	隠岐広域連合立隠岐島前病院	院　長	黒谷　一志　様	Web
15	西ノ島町	西ノ島町	町長	坂栄　一秀　様	Web
16	隠岐圏域健康長寿しまね推進会議		会　長	坂　幹子　様	島前
17	島前医師会	海士町国民健康保険海士診療所	会　長	木田川　利行　様	Web
18	海士町	海士町	町長	大江　和彦　様	欠席
19	知夫村	知夫村	村　長	平木　伴佳　様	島前
20	島根県保険者協議会	島根県国民健康保険団体連合会	事務局長	星野　充正　様	欠席

【日時】R7.3.18(火)14:00～(15:30 終了予定)

【島前】島前集合庁舎　1階会議室

【島後】隠岐合同庁舎　6階会議室

または、 Web参加

令和６年度 第1回 隠岐地域保健医療対策会議　出席者名簿

	所　属	勤務先	職　名	氏名	備　考
1	事務局	隠岐保健所	所長	岡　達郎	島後
2			総務保健部長	橋本　久美	島後
3			環境衛生部長	神門　利之	島後
4			調整監	角森　丈俊	島前
5			総務医事課長	松尾　みどり	島後
6			地域健康推進課長	岩谷　直子	島後
7			環境衛生課長	長岡　晃史	島後
8			地域包括ケア推進スタッフ　主幹	川畑　裕子	島後
9			島前保健環境係長	乃木　梢	島前
10			総務医事課主事	新川　桃英	島後

隠岐圏域の現状・課題

（1）人口推計

資料　1

隠岐圏域の人口と高齢化率の推移

	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)
総人口	25,230	23,694	21,684	20,603	19,122	17,621	16,193	14,842	13,601	12,426
85歳以上（再掲）	1,058	1,366	1,565	1,736	1,773	1,832	1,745	2,107	2,208	2,008
75歳以上（再掲）	3,762	4,373	4,616	4,509	4,218	4,518	4,696	4,565	4,053	3,492
65歳以上	7,668	7,795	7,731	8,090	8,050	7,851	7,170	6,531	6,114	5,659
15歳～64歳	14,102	13,008	11,550	10,255	8,968	7,954	7,492	6,964	6,278	5,657
14歳以下	3,460	2,891	2,403	2,258	2,104	1,816	1,531	1,347	1,209	1,110
高齢化率	30.4%	32.9%	35.7%	39.3%	42.1%	44.6%	44.3%	44.0%	45.0%	45.5%

・2000～2020年は国勢調査の実績値に基づく確定値（但し年齢不詳を含まない）

・2025～2045年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」に基づく補正データ

引用：隠岐広域連合　介護保険事業計画（第9期）

隠岐圏域の現状・課題

（2）平均寿命と65歳平均自立期間

- 隠岐圏域の男性の平均寿命は県より短く、近年横ばいで推移しており、県との差は縮まっていない

- 隠岐圏域の男性の65歳平均自立期間も、県より短い

算出：島根県健康指標データベースシステム（SHIDS）
表示年を中心とした5年平均

隠岐圏域の現状・課題

（3）死亡割合（2018～2022年死亡計）　（全年齢、40-64歳）

- 全年齢の死亡をみると、男性は悪性新生物が最も多く、ついで心疾患の順。女性は老衰、悪性新生物、心疾患の順である
- 40～64歳(壮年期)の死亡では、悪性新生物が全体の4割強を占めている。心疾患、脳血管疾患とあわせると約6割が生活習慣病に関する死亡である

算出：島根県健康指標データベースシステム（SHIDS）

隠岐圏域の現状・課題

（4）年齢調整死亡率～悪性新生物～　（75歳未満_人口10万対）

- 全がんの年齢調整死亡率は県より高く推移している

- 部位別にみると、男女とも胃がんによる年齢調整死亡率が増加傾向にある

算出：島根県健康指標データベースシステム（SHIDS）　表示年を中心とした5年平均（年齢調整：H27年平滑化人口）

隠岐圏域の現状・課題

（5）年齢調整死亡率～脳血管疾患～（全年齢、40-64歳_人口10万対）

- 全年齢では男性は県よりもやや低く減少傾向。女性は減少してきたが近年横ばい傾向にある

- 40～64歳をみると、男女とも県よりも高く推移している

算出：島根県健康指標データベースシステム（SHIDS）　表示年を中心とした5年平均（年齢調整：H27年平滑化人口）

隠岐圏域の現状・課題

（6）年齢調整死亡率～心疾患～　（全年齢、40-64歳_人口10万対）

- 全年齢では、女性は県よりも低く推移している（40～64歳女性も同様の傾向）

- 40～64歳の男性は、県よりも高い

算出：島根県健康指標データベースシステム（SHIDS）　表示年を中心とした5年平均（年齢調整：H27年平滑化人口）

隠岐圏域の現状・課題

（7）年齢調整有病率～高血圧、糖尿病～（国保・協会けんぽ特定健診）

➢ 高血圧、糖尿病の年齢調整有病率は、男女とも、県と比べやや高い傾向にある

①高血圧

定義：「服薬あり」または「収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上」

②糖尿病

定義：「服薬あり」または「空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上」

出典：特定健診集計表（年齢調整：H27平滑化人口）

病診一元化の目的及び効果・今後の目標

隠岐広域連合

１．目的

⑴　医師・看護師等、医療従事者の効率的な人材活用と確保

⑵　病院と診療所の役割分担と連携強化による患者利便性の向上

⑶　在宅サービスへの円滑な移行による切れ目のない医療提供体制の確立

⑷　資源の共同活用による経費削減　など

※令和６年度　病院と診療所を一体的に隠岐広域連合での運営がスタート

２．これまでの実績と評価

⑴　隠岐病院の医師が診療所の診療を兼務していることにより患者への医療提供が効率化

⑵　医師確保について、病院では高度な臨床ができ、診療所では地域医療（人や家庭を診る）ことが出来、医師が働くインセンティブが向上

※現在、都万診療所・五箇診療所で医学生・研修医が診療所で地域医療を学んでいる

３．今後の目標（方向性）

■病診連携の強化

⑴　隠岐病院の電子カルテと診療所の電子カルテを連携させ患者情報を共有できるようにシステムを構築（R７年度中）

⑵　高度な検査機器が必要で、隠岐病院でしかできない検査を電子カルテ上で可能

⑶　医療機器（CT や MRI）の共同利用が可能

⑷　看護師確保等の充実が図れた場合、例えば診療所ごとを拠点とし、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの強化が可能

⑸　医薬品や診療材料費の共同購入、一元管理を実現し経費削減に繋げる

資料２－２

大規模災害時における隠岐保健医療福祉体制イメージ

隠岐地区災害対策本部（本部長:隠岐支庁長）

地区災害対策本部 保健班 （班長：隠岐保健所長）

地域災害保健医療福祉調整本部

把握する情報の整理・分析・調整（随時・迅速に）

〇管内の災害時保健医療福祉活動の総合調整
- 県調整本部との連絡調整
- 被災地の情報収集と分析
- 町村との連絡調整

本部長（保健所長）

DHEAT

地域災害医療コーディネーター

事案処理部門

情報企画部門

包括支援部門

DMAT地域活動拠点本部

DPAT地域活動拠点本部

公衆衛生活動チーム担当

・

・

情報連携

地域災害保健医療福祉対策会議

情報を共有（概ねフェーズごと）
- 保健医療福祉分野におけるフェーズごとの被災状況及びニーズの把握
- 各種支援チームの派遣要否確認、不足資材等の支援要否確認
- 保健、医療、福祉等の各種支援チームの受入状況及び活動状況把握

隠岐病院（災害拠点病院）

隠岐島前病院（災害協力病院）

島前医師会・島後医師会

隠岐歯科医師会

隠岐広域連合消防本部

浦郷警察署・隠岐の島町警察署

島根県看護協会隠岐支部

島根県薬剤師会隠岐支部

西ノ島町社会福祉協議会

隠岐広域連合

海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町

会議参加

各組織・団体の役割

災害拠点病院
- 重篤患者の高度救命
- DMAT活動拠点本部(超急性期)の配置、DMATの受入、派遣
- 地域の医療機関等の支援

災害協力病院(救急告示病院)
- 災害拠点病院のバックアップ
- 重症病患者の一時的な受入
- 医療救護活動の支援

診療所
- 軽症患者の受入
- 重症病患者の搬送

消防・警察機関
- 傷病者の搬送・救命活動・緊急道路の確保・避難誘導　等

医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、社会福祉協議会など
- 災害時における協定に基づく医療救護班の派遣等、各団体の役割に応じた医療救護活動
- 物資等の確保・提供

町村
- 被災地の被害状況の把握
- 避難所、救護所の開設、運営
- 救護所等における医療・福祉ニーズの把握
- 要配慮者等の把握

※災害時の各団体の役割については、「島根県災害時医療救護実施要綱(風水害当対策･震災編)」(R3.3 島根県健康福祉部)
第3編 第1章 第1節 第5 関係機関等の体制及び役割 参照

健康なまちづくりの推進（健康長寿しまね）　資料２－３

【基本目標】　**健康寿命を延ばす！**

【スローガン】　**目指せ！生涯現役、みんなで延ばそう健康寿命**
目指せ！健康長寿のまちづくり

健康長寿しまね推進計画（第３次）隠岐圏域の取組

【推進すべき柱】と【隠岐圏域での活動の方向性】

1	**住民主体の地区ごとの健康づくり活動促進**	・各町村健康づくり推進協議会と健康づくりの取組の方向性を共有し、関係機関・団体とのネットワークを強化 ・関係団体等と連携した情報発信
2	生涯を通じた健康づくりの推進	・乳幼児期からの基本的な生活リズム・生活習慣の確立 ・20歳未満者へ、飲酒・喫煙防止も含めた健康的な生活習慣・体づくりを推進 ・青壮年期では、食事、運動、喫煙、飲酒、睡眠など生活習慣の改善、生活習慣病の予防 ・高齢期における低栄養・フレイル予防、介護予防・社会参加
3	疾病の早期発見合併症予防・重症化予防	・働き盛り世代を中心に生活習慣の改善に向けた取組等、循環器疾患の発症予防や糖尿病等の重症化予防 ・特定健診・がん検診の重要性等の啓発
4	多様な実施主体による連携のとれた効果的な運動の促進	・圏域健康長寿しまね推進会議の構成団体を中心とした圏域課題に即した啓発 ・各町村健康づくり推進協議会、職域等と連携し、働き盛り世代に向けた啓発を強化 ・住民の健康づくりを支援する環境づくりの推進

健康づくりの推進体制

各町村の健康づくりとの関係

しまね健康寿命延伸プロジェクト

モデル地区活動

島根県では「島根創生計画」において、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」の実現を目指しています。

そのためには、すべての県民が健康で、明るく、生きがいを持って生活を送ることができるとともに、地域の担い手として活躍してもらうことにより活力ある地域づくりを進めることが重要です。この実現に向けて、令和2年度より「しまね健康寿命延伸プロジェクト」をスタートし、県内7つのモデル地区で、健康なまちづくり活動を進めることとしました。

県内7つのモデル地区

R7.2.14五箇地区区長会資料より

健康寿命延伸プロジェクト事業

五箇北方区モデル事業（R2～R6年度）

【目的】
地域の健康課題解決に向けた取り組みや、住民主体の健康なまちづくり活動を進め、住民・行政・関係団体等が一体となった健康づくりを推進する

【プロジェクトの重点方針】
①減塩と野菜摂取（バランス食）　②飲酒　③運動

★こんな活動をしました！（一部をご紹介）

「自ら選択できる力を」
@五箇中学校おべんとうの日

生徒さんの感想（一部）

- いろんな野菜を＋70gとることが大事なんだなと思った。
- よく飲むジュースに、あんなに砂糖が入っているとは思いませんでした。
- 家族にも教えて、これからは塩分・糖分のとりすぎに注意して健康な体にしていきたいです。

「北方区で＋1できることは？」
@北方区通常総会

「ラジオ体操」なら区の活動時にできそう。

＜区の行事では、ラジオ体操！＞

北方区では「当たり前」の風景になりました！

サロンでは**塩分測定器**を買って、**使ってみる**ことにしました。

＜集会所調理室に、塩分測定器を設置！＞

「あんたんとこは、どげしちょる？」
@北方区・港町・栄町　健康づくり団体交流会

交流会での意見（抜粋）

「他の地区の様子を聞いて、自分たちも頑張ろうと思った」

「うちの地区でも減塩の取組をしていきたい」

「高齢化や固定化をなくしていきたい。地区を越えての活動を！」

「元気なうちから人とつながっておくことは大事」

「イベントやるから啓発においで！」
@地区の様々なイベント

R5.7.16，R6.7.13
ふれあい五箇こども祭り

R4.11.23
フリーガーデン

「個人や地区で取り組めることは？」
@北方区通常総会

ラベルワークで思いを出し合いました！
ex:「北方歩こう」回数増やしてみてはetc

R7.2.14五箇地区区長会資料より

モデル地区活動の成果

区民の皆様の意識や行動の変化

- ●プロジェクト開始以降、ウォーキングする人が増えた
- ●個人でも地区でも健康づくりに取り組んだらいいと思う人が増えた
- ●地域のつながりの良さと、健康づくりの両立を意識されるようになった

保健行政の側の成果

- ●区民の皆様の地区に対する考えや思いについて直接知ることができた
- ●これまで知らなかった人や組織と出会えて、様々な場面の取り組みができた

～活動基盤としての役員体制に支えられました～

- 区の活動に健康づくりの視点を入れた活動の取入れ
- 区役員と行政がアイディアを出し合い、合意の上で活動
- 区民にいいことはやろう！と、役員の賛同と協力で継続に
- 無理なことをせず、できることから始めた
- 区民の興味や関心楽しみながらの活動

●該当する部分を記載ください）　　資料３－１

R6年度　人材確保の取組（島根県保健医療計画P381～）

	施策の方向性	取組（隠岐病院）	取組（隠岐島前病院）
医師確保（全体）	・離島医療に対する魅力の発信	島の医療人育成センターを設置：離島医療に必要な人材の育成、確保につなげる。 ・病院ホームページ、SNS等により、育成センターからの情報発信を強化 ・離島医療フェス開催（将来隠岐で働いてくれる医療者の確保につなげるための医療イベント） ※全国の医学生、臨床研修医などを対象に開催（28名参加、R6年度は看護職等にも拡大） ・研修医等の受入れ（専攻医4名、臨床研修医28名）	・SNSによる情報発信の強化（Instagram、note、Facebook、YouTube、ホームページ） ・医師、専攻医、初期研修医、医学生の見学および実習受け入れ
	・学校・病院・行政の協力した取組	・地域枠医師との意見交換会：地域枠医師、島根県、島根大学医学部 広域連合と隠岐の島町主催（連合長、院長等、事務局隠岐病院）	・地域出身の医学生との意見・情報交換会の実施 ・小中高校への出前事業の実施による啓発活動 ・中高校生の職場体験事業の実施 ・修学資金貸与制度の広報
	・医師派遣の継続や大学等からの支援に向けた情報発信などの取組の継続	・年2回、大学（島根大学医学部、鳥取大学医学部）及び県への訪問（連合長、院長等） ・精神科医療：隠岐圏域精神科医療支援連絡会議の開催（松江） ※島根大学医学部、鳥取大学医学部、松江圏域を中心とした精神科医療機関及び 島根県（隠岐保健所含む）参加で毎年開催、広域連合主催（事務局隠岐病院）	・非常勤医師の派遣要請 ・代診体制のための医師派遣要請
（産科）	・常勤医２名体制の確保の取組	・医師紹介会社と契約し情報提供	－
	・大学等の協力による妊婦健診の実施体制の維持（島前）	・医師不在時等の島根大学医学部からの医師派遣	－
（小児科）	・関係機関と連携を図り体制維持・医師確保に努める	・派遣医師との意見交換や派遣元（島根大学医学部）との連携（毎年、教授との意見交換等）	－
歯科医師 衛生士 技工士	・関係機関が連携した歯科保健医療従事者の確保に向けた検討	・医師派遣について島根大学医学部との連携 ※病診一元化も含め、隠岐病院に歯科医師派遣（3名医）により歯科診療所にも対応 歯科医療版の地域包括ケアシステムのモデル（教授構想） ・隠岐病院歯科衛生士の正規職員採用（3名） ※専門分野（歯科口腔外科）の対応及び入院患者等の歯科口腔ケア対応 ・民間歯科医院が減少しているため、歯科医師会と連携し隠岐病院歯科医師が歯科検診等に対応	－
薬剤師	・高校生セミナー・奨学金返還助成制度等確保の取組	・薬剤師4名体制（期限付き薬剤師1名含む）	・薬学生、薬剤師のためのオンライン病院合同就職説明会に参加予定（3/16） ・小中高校への出前事業の実施による啓発活動 ・中高校生の職場体験事業の実施
看護職	・「県内進学促進」「県内就業促進」「離職防止・再就職促進」「資質向上」などの積極的取組	【進学促進】 ・職場体験（中学生）、小学校訪問授業 ・就学資金貸与（広域連合） 【就業促進】 ・隠岐の島町と協働で県立大学出雲キャンパスとの連携強化 ※年2回の大学訪問、学生の研修等の受入れ ・県立大学出雲キャンパス学生との意見交換会（出雲で開催） ※学生、県立大学関係者（理事長、副学長、教授等）との意見交換会 広域連合及び隠岐の島町主催（連合長、院長、町担当課長等） ・地元出身看護学生等と高校生との交流会の開催（8月） ・看護師確保対策チームを設置（R6年度）し、最重要課題として予算化し対応（3年間を目途） ※インスタグラムなどSNS等を利用した情報発信の強化 病院見学の旅費の補助制度、オンライン見学会の開催 病院ホームページに看護師情報バナーの設置、パンフレット作製等（R7年度） ・離島医療フェス開催（R6年度から看護師等に対象拡大：看護学生、看護師10名参加） 【離職防止等】 ・不足している看護師の業務負担軽減、効率化を優先した医療Dxの推進（R6～8年度） ※スマートフォンに移行し医療情報等の共有、ビジネスチャットアプリの導入等 ・院内保育（病児保育含む）の無償化 ・長期勤務報奨制度（10年勤務時（以後5年毎）に特別休暇（連続5日）、報奨金）	・看護師・看護学生向け病院見学および体験実習を随時開催 ・山陰地区看護師養成学校等への訪問活動 ・地域出身の医療系学生との意見・情報交換会の実施 ・県立大学との「離島看護実習プログラム」の実施に向けた協議 ・看護師を対象としたエコーセミナーの開催（参加者16名） ・SNSによる情報発信の強化（Instagram、note、Facebook、YouTube、ホームページ） ・修学資金貸与制度の広報 ・処遇改善の実施 ・会計年度任用職員の正職員化 ・看護職員等宿舎整備 ・島根県への派遣要請 ・派遣会社および医療NGOへ派遣依頼の強化 ・小中高校への出前事業の実施による啓発活動 ・中高校生の職場体験事業の実施
介護職員	・介護の仕事の魅力を発信		・SNSによる情報発信の強化（Instagram、note、Facebook、YouTube、ホームページ） ・小中高校への出前事業の実施による啓発活動 ・中高校生の職場体験事業の実施
	・介護人材確保の取組		・特定技能外国人（ミャンマー）3名採用 ・処遇改善の実施 ・会計年度任用職員の正職員化

取組（歯科医師会）	取組（看護協会）	取組（海士町）
		年に１回、島前３町村の共催により離島医療会議を開催している。今年度で３回目の開催となります。 離島医療の今や未来、離島住民の想いについて、離島で従事する医師や関係者によるセッションを行っています。医師の確保が難しい離島において、少しでも離島医療に興味を持ってもらうことができ、横のつながりができはじめています。
まだできてませんが、歯科医師会・歯科衛生士会・歯科技工士会との連携をしたいです。		
	・中学３年生を対象に看護関連グッズを配布し、看護職についてPRする ・各町村が主催する各種イベントへの参画（健康チェック・ナース服体験と記念撮影） ・看護協会との連携（看護職不足の状況や確保に向けた取組の情報交換） ・研修会の開催（「看護職が働き続けるためのメンタルヘルスケア」「災害時の対応・災害看護」）によりセルフケアとスキルアップの機会の確保	
		福祉人材の確保は、民間事業者に委託しているが、来島ツアーが主なものです。実際に来てもらい、施設の見学や町内観光、町の雰囲気を感じてもらい、移住の判断をしてもらっています。

取組（西ノ島町）	取組（知夫村）	取組（隠岐の島町）
		・県による地域医療実習（医学生対象）への協力（町の保健事業説明）
＜県内就業促進＞ ・島前病院と医学生等との交流会開催 ・養成校訪問 ・保健・福祉職場体験等旅費支援事業補助金 ・雇用充足促進事業（移住ツアー）		・県立大学による医療職選択を促進するための地元高校生を対象とした「高大社連携事業」に協力（保健師業務及び町の保健事業説明） ・県立大学による看護栄養学部２年生を対象とした「フィールド学習」に協力（地区踏査事前説明・保健事業説明・健康教室参加） ・島根大学及び県立大学による学生向けの就職説明会に参加（保健師業務説明）
・県内の介護職養成校から職場体験受入れ		《隠岐の島町社会福祉協議会にて実施》 ・福祉教育推進事業（介護の基礎的講座の開催） 中学校及び福祉事業者と連携し、中学生に対し介護の仕事を知ってもらう講座を実施。 令和６年度実績：全中学校４校、学校が指定する学年単位で２時限実施、講座と体験
・福祉介護人材確保・定着促進事業補助金 ・福祉職員等確保対策給付金 ・保健・福祉職場体験等旅費支援事業補助金 ・特定技能外国人受入経費支援	・島根県の「保険者等による福祉介護人材確保・定着促進事業補助金」を活用し、介護人材の確保・育成に取り組んでいる知夫村社会福祉協議会へ補助金を交付予定。（間接補助） 【知夫村社会福祉協議会における取組計画】 ・隠岐圏域以外からの採用者に対して就業一時金を支給 ・介護職場の体験のための渡航費等を助成 ・資格取得のための研修受講費、旅費宿泊費を補助 ・スキルアップ研修の旅費宿泊費を補助 ・職員の離職防止などメンタルヘルス増進のため、カウンセラーとの定期的な面談を実施	《事業者支援》 ・介護職員処遇改善対策補助金事業 処遇改善加算対象の職種について年額5万円／人を交付し、事業所における処遇改善の取組みを支援、令和６年度実績見込：１２事業所、３５９人、１７，９５０千円 ・福祉体験事業 保険者（隠岐広域連合）及び事業所と連携し、島根県内の介護人材養成校の学生に対し、隠岐の島町の福祉事業所及び生活環境を知る機会を設け、島内への就職を検討するきっかけをつくるもの。 参加する学生に対し4万円を上限に費用を助成することにより、経済的負担を軽減し参加を促進する。 令和６年度実績：２養成校より８名参加、社会福祉法人２法人参加 《従事者支援》 ・福祉施設職員就労支援助成金制度 ＵＩターン者が新たに町内福祉事業所に常勤就労した場合、月２万円、３６か月上限、助成金を交付する。令和６年度実績見込：１年目２名、２年目１名、３年目１名

取組（広域連合）	県の取組
	医師を「呼ぶ」「育てる」「助ける」の３本柱による医師確保対策を推進 （別添資料参照）
	【県内就学】 ・職業紹介事業 ・歯科技工士の仕事に関するリーフレットやポスターの作成・配布 【県内就業】 ・養成校学生と歯科衛生士・歯科技工士との交流会 ・地域歯科医療体験ツアー（りびえーるでの広報あり）
	・在学期間中に借り入れた奨学金の返還の助成 ・薬剤師をめざす高校生のためのセミナー ・薬剤師派遣事業開始（R7年度～）
■隱岐広域連合医療技術修学資金貸与事業の実施 ○事業の目的及び概要 　医療技術職員の確保を図るため、将来、隱岐病院及び隱岐島前病院に医療技術職員として勤務しようとする者に対して修学資金を貸与する。 　金額：月額５万円 　猶予：卒後、４年以内。（島根、鳥取の医療機関に勤務している者は６年） 　免除：貸与期間の２倍に相当する期間以上従事したときは全部を免除。 ○実績（平成10年～令和６年） 　【隱岐病院】 　　貸与者：142名 　　採用者：50名 　　採用率：38％（11名が貸与中のため50名/131名となる） 　【隱岐島前病院】 　　貸与者：12名 　　採用者：2名 　　採用率：22％（3名が貸与中のため2名/9名となる）	県内進学促進」「県内就業支援」「離職防止・再就業促進」「資質向上」の４つの柱で対策を推進 【主な事業】 ＜県内進学促進＞ ・島根県看護師等養成所運営費補助金 ・中学生・高校生のための一日看護学生・看護体験事業 ＜県内就業の促進＞ ・島根「ふるさと」看護奨学金(UIターン枠)(過疎、離島枠)（助産師枠）制度 ・島根県新卒等訪問看護師育成事業 ＜離職防止・再就業促進＞ ・島根県病院内保育所運営費補助金 ・島根県新人看護職員研修事業補助金 ＜資質向上＞ ・島根県医療介護総合確保促進基金事業（看護職員キャリアアップ支援事業、医療従事者の確保に関する事業）
・隱岐の島町社会福祉協議会が主体となり、隱岐の島町内の中学生を対象に介護の基礎的講座を実施。同町内の介護事業所職員等が講師となり、高齢者体験や介護体験を行った。 ・隱岐広域連合のホームページに「島の福祉事業所案内所」のコーナー（バナー）を設置し、隱岐圏域の介護事業所の求人情報を掲載するとともに、フェイスブックで隱岐の島の暮らしや仕事の魅力発信を行っている。	・島根県介護の仕事のイメージアップ広報 ・島根県「介護の日」イベント ・中高生夏休み介護の職場（仕事）体験事業
・本土の介護人材養成校に通う学生を対象に、隱岐の生活と介護を体験してもらう福祉体験交流事業を隱岐の島町と西ノ島町で実施。8月1日から3日にかけて計10名の学生が来島した。 ・島内で開催される介護実務者研修のスクーリングに、広域連合で養成した指導者を3名派遣した。 ・上記研修を隱岐4町村どこからでも日帰りで受講できるようカリキュラムの変更を行うとともに、受講に掛かる費用のうち、交通費等移動に掛かる費用の補助を行った。 ・介護事業所が外国人人材を受け入れに向け検討できるよう、人材紹介会社を招き、事業所説明会を開催した。 ・隱岐圏域の介護事業所をつなげるLINEworksを導入予定（令和7年度）。導入に向けた事業所との意見交換やヒアリングを行った。また、年度内にはトライアルも実施予定。 ・介護事業所の現状を把握し、課題実態に沿った取り組みを展開していくため事業所ヒアリングと意見交換会を開催した。 ・隱岐の島町社協と共催で、福祉現場の業務効率化、生産性向上に関する研修会を介護事業所向けに開催した。	・外国人介護人材受入施設環境整備事業 ・外国人留学生奨学金等支給支援事業 ・外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業 ・島根県介護ロボット等導入支援事業 ・保険者等による福祉介護人材確保・定着促進事業 《各種研修事業》 ・介護員養成研修（生活援助従事者研修） ・認知症介護関係研修（サービス事業者向け・指導者養成研修） ・介護人材資質向上支援事業 ・新任介護職員定着支援事業 ・介護職場における実務者研修代替職員確保支援事業 ・離島・中山間地域における介護福祉士資格取得（実務経験ルート）促進事業

資料３－２

私、時々
離島保健師
という働き方

知夫村のチャレンジ

知夫村では、常勤保健師がなかなか見つからず、非常勤保健師を活用した持続可能な地域ケア体制の構築に取り組んでいます。

2～3人程度の非常勤保健師でチームを構成し、交代で１か月のうち1週間程度、年間10回程度知夫村内において保健活動を行うことを目指しています。

「時々島に行く」という方法で、住民の健康生活をいかに支えるか。そのためにはチーム力を高め、関係機関との連携を図る必要があります。オンラインで定例会を開催し、密な情報交換、活動方針や方法の検討しています。

あなたも仲間に加わりませんか。
詳細は、知夫村役場HPへ。

知夫村役場　村民福祉課
〒684-0102 島根県隠岐郡知夫村1065番地
TEL 08514-8-2211

人々の生活に根差した保健師活動を、ちょうどよい距離感で。
島で時々働くという働き方がここにあります。

離島保健師体験ツアー

島根県 隠岐郡 知夫村（ちぶむら）

知夫村（知夫里島）で保健師として働く魅力をご紹介させていただくツアーです。

現在知夫村で活躍する非常勤保健師の活動内容を見学したり、保健師と協働する関係機関や村役場職員から話を伺ったり、島で手に入るもので食事を作ったり。保健師活動と島の暮らしを少しでも体験できるように企画しました。

参加希望者は8月9日(金)正午までにお申し込みください。

ツアー情報

日　　程　2024年8月19日（月）～21日（水）
知夫村来居港待合室に8月19日(月)正午に集合。
※ 上記日程以外でも見学可能です。お気軽にご相談ください。

費　　用　交通及び宿泊にかかる費用は本人負担。
※ 知夫村の保健師として採用が見込まれる方には旅費が支給されます（上限5万円）。希望者は必ず事前に、知夫村役場村民福祉課 TEL08514-8-2211 にご連絡ください。

交　　通　交通機関は各自でご予約ください。
往路は8月19日七類港9:30発フェリーくにが、復路は8月21日か22日の来居港10:55発フェリーしらしまがお勧めです。

宿　　泊　島内の宿泊はログハウス（1泊2,000円、相部屋・狭い、女性のみ）と、旅館一休（1泊8,000円、相部屋・広い、男性可）を用意しております。どちらも食事は共同調理です。

参 加 者　保健師、看護師、看護学生・大学院生など最大5名。

お申込み　右のQRコードから、8月9日(金)までにお申し込みください。

内　　容
- ○ オリエンテーション（知夫村でのこれまでの保健師活動、現在の状況、村保健師として期待されていること、島内外関係機関との連携内容など）
- ○ 島内関係機関の見学（村役場、地域包括支援センター、診療所、招福苑、小中学校、保育所など）
- ○ 島内社会資源の見学（商店、YADDOなど）
- ○ 保健福祉事業への参加
- ○ 非常勤保健師とのフリートーク
- ○ 関係機関職員や役場職員とのディスカッション
- ○ 職員住宅の見学　など

お申し込み・お問合せ

ツアーのお申し込みは右のQRコードから。
https://forms.gle/gNQpibSR7m7fCXdEA

お問い合わせは
NPO法人へき地保健師協会へ。
hekichihokenshi@gmail.com

へき地保健師
HEKICHI HOKENSHI